
行歯会だより (第20号) 2007年2月(毎月発行)

(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会)

8020推進財団について

8020推進財団 専務理事 新井 誠四郎



財団法人8020推進財団は、日本歯科医師会が設立を提唱し、歯科関連の団体と企業の協力によって設立された財団であり、財団設立の中核団体である日本歯科医師会はこの財団をしっかりと育てていかなければならないと思いますし、行歯会の皆様のご支援にも大きな期待を寄せております。

8020運動の推進は、自分の歯で噛むことが生命の根源の力に直結していることを再確認させ、8020達成のためには、生活習慣という国民一人ひとりの生き方に関与していく運動が必要です。それは、高齢社会に対応する新たな価値観をつくり得る保健文化運動、あるいは国民の生活文化運動として展開していく可能性も持っていると考えています。

平成12年4月に「健康日本21」がスタートし、その法的位置付けとしての「健康増進法」が平成15年5月に施行されました。「健康増進法」において歯の健康について明記され、国民の健康保持・増進を図るために歯科保健の果たす役割はますます重要なものとなっております。

このような背景のもと、8020推進財団では国民に8020運動の意味や趣旨を広く普及啓発し、8020運動を国民運動として発展させていくために活動してまいります。また、全身の健康増進に向けた口腔と全

身の健康との関連、食と歯を重視した活動を推進してまいります。さらに8020運動の推進に必要な小冊子、パンフレット、会誌の配布や調査・研究成果など最新情報を提供してまいります。

8020運動は多くの団体や企業、そして国民に参加していただくことが大切ですが、そのためには歯科関係者の熱意とご理解ご支援が不可欠であると考えております。なぜなら、8020運動は21世紀の新たな健康づくりの価値観を、歯科界から発信できる絶好のチャンスだからです。

平成17年に行なわれた歯科疾患実態調査の報告では「80歳で20歯以上の歯を有する者の割合は、初めて20%を超え」として一定の成果を得たところであります。

しかし、一方で8020運動の認知度、国民運動としての普及には、まだまだ目的達成には至っておりません。

平成元年以来、20年に達する運動の一つの節目として、これまでの運動展開を踏まえ、さらに強力に推進を図ることとして、8020運動推進に対し、財団として平成19年度の新しい視点での取り組み方をすすめることといたしました。

住民がすすめる新8020運動と呼称し、地域住民による、地域住民のための8020運動の展開を模索することにあります。

住民がすすめる「新8020運動」構想

= 地域住民による、地域住民のための「新8020運動」 =

1. 本来、地域住民が主体となり、自然発生的に運動展開ができればベストであるが、国民運動として更なる8020運動を強力に推進するため、財団、歯科医師会が「新8020運動」啓発の動機付けを行いたい。
 2. 地域住民に歯の健康意識を惹起させるため、財団、日本歯科医師会、都道府県歯科医師会、市区町村歯科医師会が連携し、さらに行歯会あるいは企業等の協力により、「新8020運動」の積極的な展開を地域住民に働きかける。
 3. 地域住民が「新8020運動」を実践する際には、本財団等が財政面での支援を含め強気にサポートする旨伝える。
 4. 先駆けて8020運動を地域で効果的に展開している静岡、新潟、岩手、愛知県等をモデル地区としてその輪を広げていきたい。
 5. 毎年、数ヶ所の対象県（地域）を特定し、「新8020運動」を展開していく。
 6. 骨子案が出来たら、8020先進県に事例報告をお願いし、問題点の指摘また独自の成功例等について教示してもらおう。
 7. この事業を実施するにあたり、都道府県
歯科医師会、市区町村歯科医師会の理解と協力が不可欠であると考える。
 8. 事業の運営を成功させるため、定期的に関係者の「連絡会」を開催する。
 9. 平成19年度は、「新8020運動」展開のための準備期間と位置づけ、財団の8020地域保健活動推進委員会を中心に関係者の検討会（ワークショップ・事例報告会等）を開催したい。
 10. 平成20年度、国の医療制度改革とを同じくして「新8020運動」をスタートさせたい。
 11. 今後の予定
平成19年5月15日（火）
ワークショップの開催
11月
事例報告会の開催
（岩手、新潟、静岡、愛知県の各事例）
平成20年1月～2月
新8020運動実施希望地区への達
説明会の開催
- 行歯会の皆様には8020推進財団が新たに展開する「住民がすすめる新8020運動」に全面的なご理解ご協力をお願いする次第であります。



地域紹介

「おいでんせえ おかやまへ」

岡山市保健所健康づくり課 河本 幸子

こんにちは、岡山市保健所の河本です。毎度、メーリングリストでは、お騒がせしております。f^_^;)今回は、岡山の「地域紹介」を仰せつかりました。生まれも育ちも岡山市の Native Okayaman がご案内申し上げます。

ちょうどサザエさんのオープニング旅行記で岡山が紹介されていたので、その順番でご紹介します。

1. 2006年10月1日～12月31日放送「岡山県1」

(1) 岡山駅と岡山電気軌道の路面電車 (MOMO) (岡山市)

岡山市は桃太郎と吉備団子で知られています。岡山駅東口を出ると、犬、猿、雉を連れた桃太郎像があります。駅正面から東へのびた桃太郎大通りには、路面電車が走り、岡山城と後樂園に続いています。

岡山駅は、四国との連絡口としての機能もあるため、山陽新幹線は全列車が停車します。普段、新幹線が通過するのを見たことがないので、他の都市に行った時には、びっくりすることがあります。のぞみで、東京から3時間20分、博多から1時間40分、神戸と広島の間です。案外、近いですよ。

(2) 倉敷美観地区 (倉敷市)

江戸時代の天領の名残をとどめた白壁の町です。町屋や白壁の土蔵が建ち並び、柳並木が倉敷川の川面に揺れる様子は、倉敷の象徴的な風景です。大原美術館やアイビスクエアなどの見所の他、小さなギャラリーや喫茶店もおしゃれです。

(3) 牛窓オリーブ園 (瀬戸内市)

瀬戸内海に面し、「日本のエーゲ海」と称する多島美の景観が望めます。夏は、地元の牧場のジェラートを片手に、青い海を眺めるのがお勧めです。

(4) 備前焼

備前市伊部(いんべ)地区を中心に窯があります。釉薬を使わない赤みの強い地味な陶器ですが、花瓶は水が腐りにくく花が長持ちし、ピアグラスは細か

い泡が立ってビールがとても美味しくいただけます。毎年10月には、伊部駅周辺で「備前焼まつり」が開催され、格安で入手できます。

(5) 閑谷学校 (備前市)

江戸時代、岡山藩によって開かれた庶民のための学校で、講堂は国宝に指定されています。秋は、赤と黄色に色づいた楷の木が大変きれいです。

(6) 蒜山高原 (真庭市)

西の軽井沢と呼ばれるリゾート地で、日本最大のジャージー牛の牧場があります。蒜山ジャージーヨーグルトは、私のお薦めの一品です。

(7) 神庭 (かんば) の滝 (真庭市)

日本の滝百選にも選ばれています。野生のニホンザルが生息しており、時々いたずらっこもいます。

(>_<)

(8) 奥津温泉 (苫田郡鏡野町)

美人の湯として知られています。河原にある露天風呂では「足踏み洗濯」が行われています。その昔、熊や狼に襲われないように、あたりを見張りながら洗濯していたのが始まりと言われています。

(9) 湯郷温泉 (美作市)

延暦寺の円仁法師が西国巡礼の途中で、白鷺が足の傷を癒しているのを見て、いで湯を発見したと伝えられており、鷺ノ湯とも呼ばれています。地元のカフェや旅館などでは、なでしこリーグ湯郷 Belleの選手にも会えます。

2. 2007年1月7日～3月25日放送「岡山県2」

(1) 後樂園 (岡山市)

後樂園は日本三名園の一つで、お正月には丹頂が放鳥され、大変美しい風景がご覧いただけます。

(2) 瀬戸大橋、王子が岳、下津井港 (倉敷市)

瀬戸大橋は、本州四国連絡橋のひとつで、上部が4車線の瀬戸中央自動車道、下部がJ R瀬戸大橋線

の2層構造になっています。王子が岳からは瀬戸大橋をはじめ、備讃瀬戸の景観を一望でき、下津井港からは、瀬戸大橋を真下から見上げることができます。下津井のタコは大変美味しいですよ。

(3) 備中国分寺(総社市)

五重塔と吉備路ののどかな田園風景が広がります。春は、一面ピンク色のレンゲにつつまれて、サイクリングするのが心地よいです。

(4) 吉備津神社(岡山市)

桃太郎のモデルといわれる大吉備津彦命を祭神としています。討伐された温羅の首を釜の下に埋めたことから始まったと言われる鳴釜神事では、釜の鳴る音で吉凶を占います。本殿、御釜殿などをつなぐ回廊は、総延長398mにもなり、趣があります。

(5) 備中松山城(高梁市)

臥牛山(標高430m)にある山城で、建物が現存する城郭の中では日本一高い所にあります。

(6) 武蔵の里(美作市)

宮本武蔵の生誕伝承地として、顕彰施設が多数建設されています。

(7) 恩原高原(苫田郡鏡野町)

白樺林やカラマツ林が茂り、付近にはスキー場やオートキャンプ場があります。

(8) 倉敷チボリ公園(倉敷市)

デンマークのチボリ公園をモチーフにして造られたテーマパークです。クリスマスのイルミネーションは大変華やかです。

(9) 湯原温泉(真庭市)

湯原ダム下流の「砂湯」は、巨大な共同露天風呂です。奥津温泉、湯郷温泉とともに「美作三湯」と呼ばれています。

岡山は、降水量が1ミリ未満の日が全国一多く、「晴れの国」として知られています。岡山にお越しの際には、傘を持たなくても大丈夫かもしれません。(^^)

また、鯖料理も美味しいです。岡山でお刺身と言えば、鯖です。

さらに、今月17日(土)の深夜には、日本三奇祭の一つ「西大寺会陽(はだか祭り)」があります。午

前零時に本堂の御福窓から投下される二本の宝木(しんぎ)をめぐり、数千人の裸の群が激しい争奪戦を繰り広げます。

この他にも見どころ、味どころが多数あり、ご紹介しきれません。是非、岡山にお越しください。

さて、最後に岡山市保健所の保健事業について、ご紹介します。

岡山市は政令指定都市移行を目指しており、2005年3月に2町、2007年1月に2町を編入合併し、人口は約70万となりました。現在、1保健所6保健センター体制で保健事業を行っており、私の所属する健康づくり課は、120名を超える職員を抱えています。

岡山市保健所の保健事業の特徴は、「健康市民おかやま21」(健康日本21地方計画)に基づくヘルスプロモーションと愛育委員協議会・栄養改善協議会・おやこクラブネットワークなどのヘルスボランティアの存在です。おやこクラブは、子どもたちの豊かな心と健康な体を育てることを目的とし、就園前の幼児とその保護者を中心に組織された育児サークルで、会員による自主的な運営が行われています。

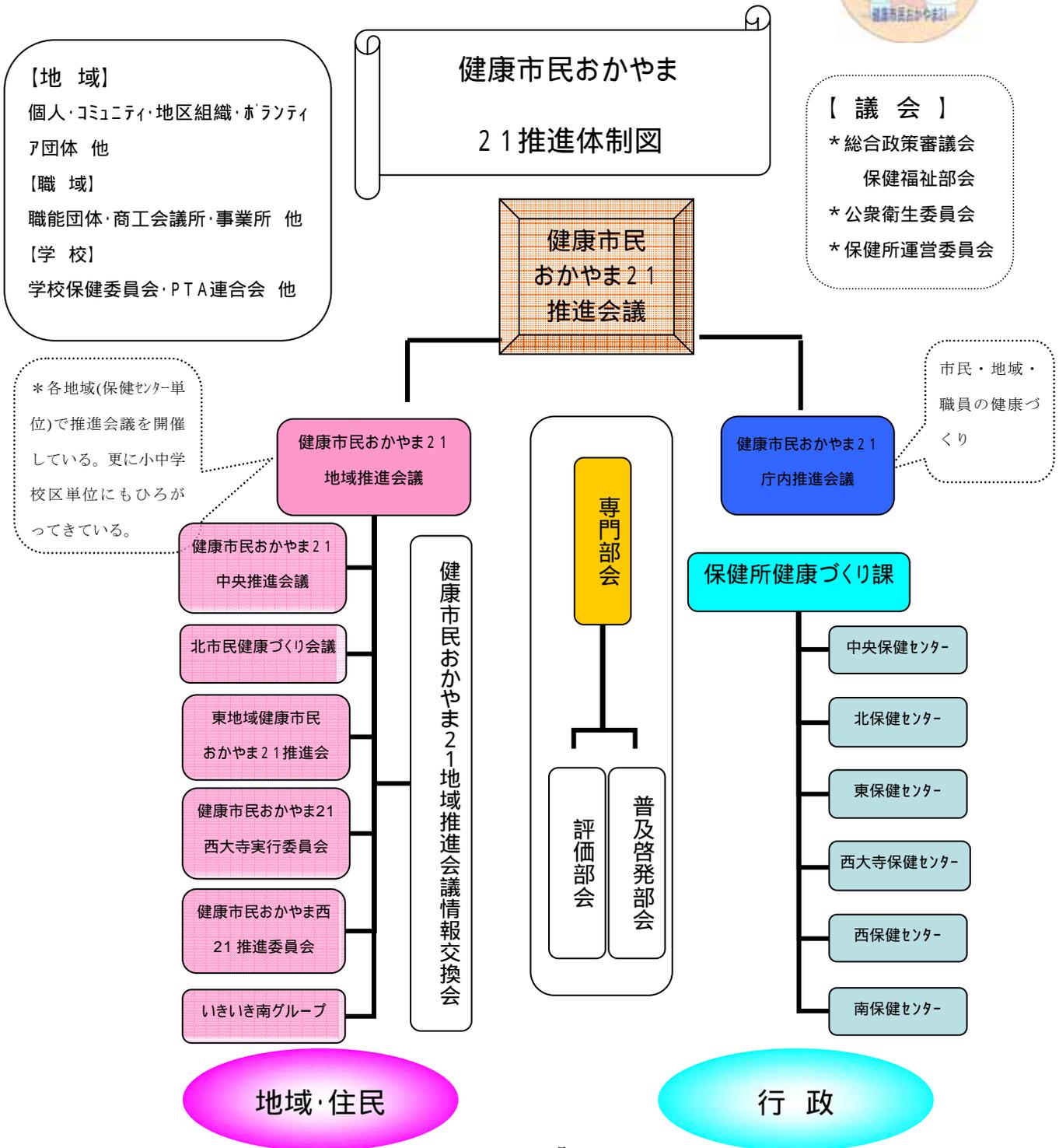
岡山市では、市民と協働して平成15年度から「健康市民おかやま21」を推進し、健康づくり・地域づくりを進めてきました。来年度には、中間評価を行う予定で、関係団体や市民代表から組織される「推進会議」の中に、イベントや広報計画などの普及啓発活動を担当する「普及啓発部会」と推進の評価を担当する「評価部会」を立ち上げ、検討を重ねています。各保健センター単位にも「地域推進会議」を組織し、地道な活動が繰り広げられています。つい先日にも地域や団体の活動を発表する「実践交流会」を開催しました。活発な情報交換が行われ、参加者それぞれがエンパワーされたことと思います。一方、市役所内33関係課で組織する「庁内推進会議」でも情報交換や活動紹介などが行われ、連携が進んでいます。

もちろん、「歯の健康」についてもフッ素洗口実施校の拡大等、目標値が設定され、地域密着型で様々な取り組みが行われています。従前から三歳児う蝕

有病者率の高い地域では、シンポジウムの参加者投票で重点目標の一つを「歯の健康」とし、地域推進会議のメンバーが中心となって継続的に活動を続けています。また、今年度の重点活動を「歯の健康」としている地域もあります。「歯」は、若い年代を巻き込むのにとっても便利なツールです。健康市民おかやま21の推進宣言をした登録団体(活動団体データベース)の中でも学校、幼稚園、おやこクラブなど

の子どもを持つ世代では、「歯の健康」に取り組んでいる割合が高くなっています。

医療制度改革や乳幼児虐待など、様々な課題に追われる毎日ですが、こんな時だからこそ『ヘルスプロモーション』を大切にしていきたいと思っています。



理事の独り言 (その19)

『人生の目的』



佐賀県健康福祉部 健康増進課長 岩瀬 達雄

昨年は、障害者自立支援法が動き出しました。さらに、自殺対策基本法にはじまり、がん対策基本法、感染症法の改正、医療制度改革に医療費適正化計画などなど、国の動きには戸惑うばかり、変革の時代とはいうものの、いいかげんに・・・

先日、美しい詩を見つけました。上智大学学長を務めたことがあるヘルマン・ホイヴェルス神父の書の中にでてきます「最上のわざ」。

少しだけ紹介します。

この世の最上のわざは何？

楽しい心で年をとり

働きたいけれども休み

しゃべりたいけれども黙り

失望しそうなときに希望し

従順に、平静に、

おのれの十字架をになう。

若者が元気いっぱい神の道をあゆむのを見ても、ねたまず

人のために働くよりも、

謙虚に人の世話になり

弱って、もはや人のために役だたずとも、親切で柔和であること。

老いの重荷は神の賜物。

古びた心に、

これで最後のみがきをかける。

まことのふるさとへ行くために。

(以下略)

こんな詩が、こころに響く年になりました。

お前の人生の目的は何？と聞かれたら、金持ちになることでもなく、社長になることでもなく、即座に答えます。

穏やかで、愛情深い人になること・・・

まだまだ、先は遠いなあ・・・

アドバイザーは語る②

『首尾一貫感覚（コヒーレンス）とは何か』

国立保健医療科学院口腔保健部 ❖花田信弘❖

健康生成論 (Salutogenesis) を体系化した医療社会学者アントノフスキーが発見したのは「首尾一貫感覚」(コヒーレンス: Sense of Coherence) である。健康づくりには人々が自分の人生に対して「首尾一貫感覚」を持つことが大切だということである。

コヒーレンスは、結合の緊密さ、結合力、論理統一性、首尾一貫性あるいは「筋が通っていること」と訳されている。安定した価値観の中で育ち、自分の人生に意味や目的があると強く感じている人はコヒーレンスの感覚を持つことができる。健康生成論では戦時中の「ユダヤ人収容所」の経験を通して、コヒーレンスの強弱で人々が生き残れるかどうかが決まるとされている。コヒーレンスはヨーロッパの研究から生み出されたことばであり、日本の伝統的な文化に裏打ちされた人生観が、日本人の健康づくりにどのように関わるかは今後の研究課題である。しかし、日本においてもコヒーレンスが健康づくりの核心的課題であり、健康づくりを目指す「行歯会」でも常に議論の的となるべきことばだと思ふ。

高齢になった人々が自信を持って生き続けられるのは、第二次世界大戦の敗戦によって大きく揺らぎはしたがその前後の日本の安定した文化環境によって、これまで「一貫性」のある人生経験をしてきたからである。首尾一貫感覚はわかりやすく言えば「がんこ親父」が抱く、揺るぎない伝統的価値感覚を包含する概念である。

第一回で述べたように、疾病生成論と健康生成論のバランスによって健康づくりが成り立っているが、この2つは並立するのではなく、おそらく上位概念は人生観を中心概念に持つ健康生成論であろう。これまでの近代医学が作りだした疾病生成論は人々のコヒーレンスを達成するための下位概念（手段）にすぎないのかもしれない。高齢社会においては、「次世代に伝えたいことがある」「生きてて良かった（今日もビールがうまい）」「多くの孫に囲まれた自分の人生は素晴らしい」といった「筋が通った」感覚を多くの地域住民が抱くためにはどうしたらいいのかという健康生成論の問題意識を健康づくりの上位概念に据え、各臓器の疾患を抑えるために疾病生成論のアプローチを展開していくスタンスが必要である。健康生成論は疾病生成論とは違って、医療費がかからないので、これからの行政の施策にはどんどん取り入れるべきである。

同時に「歯が痛い」と言いながらこの世を去るようでは、それまでに創り上げてきた人々のコヒーレンスが台無しになることだけは確かである。歯の健康づくりは、言語、食文化という文化的な課題と栄養、微生物という医学的な課題の双方に関連している。歯の健康づくりは、疾病生成論に関わり、同時に健康生成論にも関わっているので、特別な発展が期待される。

国立保健医療科学院の研修のお知らせ

1. 衛生主管部管理職（歯科保健担当）コース

概要：歯科保健行政の管理職等を対象とした研修（歯科専門職は除く）

期間：2007.7.19(木)～7.20(金)

定員：20名

詳細は下記 URL を参照

<http://www.niph.go.jp/entrance/h19/320esmdp.html>

2. 臨床研修指導歯科医（保健所）養成コース

概要：行政機関に勤務する歯科医師が、歯科医師臨床研修の指導医歯科医としてのスキルを身につける研修

期間：2007.8.23(木)～8.24(金)

定員：15名

詳細は下記 URL を参照

<http://www.niph.go.jp/entrance/h19/431rkdhk.html>

3. 歯科衛生士研修

概要：行政機関等に勤務する歯科衛生士の資質向上など

期間：2008.1.15(火)～1.25(金)

定員：20名

詳細は下記 URL を参照

<http://www.niph.go.jp/entrance/h19/418sika.html>

先進地視察研修募集

（財）日本公衆衛生協会地域保健総合推進事業の一環で、新潟県弥彦村先進地視察研修の参加者を下記のとおり募集します。

- 1 日程 平成19年3月16日（金）午後
- 2 視察先 新潟県西蒲郡 弥彦村 及び 弥彦小学校
（寝たきり者の歯科保健対策及びフッ化物集団洗口）
- 3 対象 行歯会会員及び行政関係者等
- 4 旅費 住所地（勤務地）からの往復旅費・宿泊費を支給
（宿泊費は、所用時間が一定程度以上を要する場合に支給）
- 5 行程 上越新幹線 燕三条駅に正午頃集合 バスで弥彦村へ
帰りは燕三条駅17時頃を予定
- 6 申込先 新潟県南魚沼地域振興局 健康福祉環境部 参事 医薬予防課長
永瀬 吉彦 nagase.yoshihiko@pref.niigata.lg.jp（メールで申し込む）
- 7 その他 締切は3月2日 申込者多数の場合は人数調整することもあります。